

## アグリーマン ツイストポテト登場!

アグリーマンで農産物を使った商品開発を行いました。ジャガイモを「らせん状」に切り、フライヤーで揚げる、その名も「ツイストポテト」。

上毛祭(10月7日)やJA農業祭(10月27日)、そして京築神楽伝統文化会館(豊前市)で開催された、京築神楽と食の祭典(11月4日)などに出品し、ジャガイモ本来の味を楽しむことに加え、物珍しいことが好評で、大人気になりました。

また、豊前・築上地域の若手農家のイベント出店にも協力し、ツイストポテトを販売しました。

今後も地域のジャガイモ栽培の技術向上に繋げるため、いろんなイベントに積極的に出店していきたいと思ひます。



## 上毛ファンクラブ 都市との交流イベントで種付けした落花生を収穫しました

6月に東上で開催した、民泊を取り入れた体験型イベントには、福岡市や北九州市といった都市圏の方19名が参加しました。このときに農業体験として、種まきをした落花生が収穫時期を迎えました。

10月7日に「収穫祭」を開催することを決め、9月30日にファンクラブのスタッフ10名で試し掘りと試食会を行いました。落花生の栽培・収穫は、全員素人で不安一杯でしたが、見事に実った落花生に一安心。また、収穫後、茹でて試食したところ、新鮮な香りと豊かな味にスタッフ一同大満足でした。

「収穫祭」では、福岡市や大分県佐伯市などの遠方から参加した24名が立派に実った落花生を収穫し、絶賛していました。

こうした体験を通じて、もっともっとたくさんの人に町の魅力を知ってもらい、上毛町ファンを増やしていきたいです。



## 上毛町コミュニティ新米クラブ 第4回上毛町コミュニティ新米杯

10月21日(日)、大池公園多目的運動広場で第4回上毛町コミュニティ新米杯が開催されました。北九州市から豊後高田市まで、一般の部9チーム、壮年の部5チーム、監督選手100人が会場に集まり、男子ペア2組、女子ペア1組が1チームになっている団体戦が行われました。

この大会は、上毛町のお米と、観光情報のPRを目的に毎年開催されています。優勝した一般の部「北九州組A」、壮年の部「宇佐ワインクラブB」にそれぞれ30kgの新米が渡されました。また、2位、3位、4位、参加賞として合計300kgの新米が手渡されました。



## ネットワーク友枝 第7回さあ、行こう!まちあるきイベント 「巣狩山へ登ろう」 459mからヤッホー

9月23日(日)に、ネットワーク友枝がまち歩きを開催しました。今回で7回目となるこのイベントには、地域内外から70名の参加がありました。

巣狩山は、その美しい姿が有田富士とも言われ、まちあるきイベントでこの山に登ることはスタッフにとって念願でした。参加する方々に頂上での絶景を堪能してもらいたいと当日の好天を祈りながらの準備でした。

当日は晴天に恵まれ、中島保男さん、山本盛文さんの山登りガイドのもと、巣狩山の山頂へ到着。459mの頂からは町内一円が、遙かかなたには国東半島、そして耶馬溪、由布連山が見え、みんなでワンドフルコール、お天道様に大感謝です。

また、参加者は軽食として出されたおにぎりとキノコ汁に大満足で、初秋を満喫したまちあるきとなりました。



## 松尾山修験道回峰行実行委員会 秋晴れの中、修験道回峰行に挑む

11月3日(土)4日(日)の1泊2日で、松尾山修験道回峰行が開催されました。今年で5回目となるこのイベントは、修験の里「松尾山(西友枝)」の山伏たちが行っていた峰入修行の足跡を巡る全行程25kmの旅となっており、総勢57名が修験道回峰行にチャレンジしました。

3日、早朝5時30分まだ暗い中、スタート場所である「ゆいきらら」にだんだん参加者が集まってきました。講堂で開会式を行い、午前7時にいよいよスタート。松尾山から山を下り豊前市中川底へ。求菩提山の鬼門(北東の方角)に位置する如法寺へ向い、かつては松尾山医王寺の末寺であった泉水寺千手観音で昼食。それから土佐井荒尾の鼻から再び入山し、松尾山を目指しました。そして、16時には、ゴールの「ゆいきらら」に全員到着しました。

大平楽の温泉で体を癒した後、「ゆいきらら」で開催された懇親会では、ゆいきらら調理班による地元食材を使った山伏料理や猪汁などを堪能しました。

翌日、全行程25kmを制覇した参加者全員に満行証が手渡され、無事終えることができました。

終了後の参加者のアンケートで驚いたことは、「上毛町を初めて知った」と答えた方が20%もいたことです。このイベントを継続し、上毛町をもっともっとPRしていきたいです。

今回は、松尾山から大分県「檜原山正平寺」への回峰行にチャレンジする予定です。



## 絵本製作委員会 河童伝説の絵本の制作に一役

久留米市田主丸町の河童伝説を題材にした本「河童 福太郎の恩返し」の挿絵と製本を行いました。

この絵本は、木崎保則さん(久留米市)が自費出版したもので、木崎さんは「松尾山とお薬師さま」を見て、出版する本のイメージにぴったりの絵で、挿絵を依頼したとのこと。

絵本製作委員会による地域づくり活動が町外にも認知され、確実に広がっていることを実感させられます。



## 下唐原地域おこし会 地域で育てたおいしい サツマイモがたくさん採れました

下唐原地域おこし会で管理する畑(大平楽裏8a)で、育ててきたサツマイモが収穫の時期を迎えました。このサツマイモは、地域の豊かな農作物を町内外に広く知ってもらうことを目的に、10年以上前から下唐原地域で毎年育てられているものです。

11月1日(木)は大平保育所の園児47名が、11月4日(日)は町内外からさわやか市大平のイベントに参加した45名が芋掘り体験をしました。子どもの顔ほどに成長したサツマイモは、大平保育所では給食とおやつに、イベントの参加者はおみやげに持って帰りました。

